

炭を活用した食による明舞のまちづくり

NPO 法人 環境 21 の会 ○竹重勲
NPO 法人 明舞ひまわり 入江一恵

1. 活動方針・目的

二酸化炭素の削減をし、地球温暖化防止を推進し、同時に緑化推進の重要性を多くの人々に啓発することを目的とする。

2. 活動内容

明舞団地はいたるところから明石海峡大橋、淡路島、明石海峡が見渡せるし、中心部には薪炭材を主体にした里山の松が丘公園があり観光としての資源は十分ある。この地をより活性化するために、兵庫県の夢前町の里山を保全し間伐材を独自の耐火煉瓦の炭焼窯で炭化し、洲本市の五色町の竹林の保全やケナフ植栽で出来た材料を独自の鋼鉄製炭焼窯で炭化し、これらの炭を活用して、多くの住民が関心を示す、健康で環境に優しい、美味しい食を提供し、交流と活性化を進める為に、「まちづくり」とともに国土交通大臣賞と兵庫県知事賞を受賞した「明舞ひまわり」と「環境 21 の会」がコラボレートして推進する。

3. 他の活動団体の参考となる事例

最初に如何に炭作りを可能にするか、田舎と都会の結びつけをするか、情報を密にし、交流を深め、お互いのメリットを共有することで、多くの人に参加させることが重要であり、同時になんとといっても資金を集めることである。これには炭の効用について多くの人に啓発し、いろいろと助成金を集め、明舞団地では炭を展示、効用を目の前で実験し、竹炭コービーや竹炭ご飯や炭の餅焼きで関心を深めていった。

4. 今後の課題等

環境 21 の会も明舞ひまわりもともに高齢化が進み後継者をいかにするかが問題であると同時に、若い人たちや田舎の人たちとの交流を如何にすすめるかも課題である。

炭を活用した食による 明舞まちづくり

NPO法人 環境21の会
理事長 竹重 勲



15年前から夢前の里山整備開始



H20, 間伐材を独自のサラリーマン耐火煉瓦窯で炭に



H25洲本分校で神戸学院大社会貢献ユニットの生徒が炭窯学習



H20, メンバーと近所に人が炭で交流



H22, 明舞団地の空き家を炭を活用する寺子屋に



それぞれ「まちづくり」大臣賞のひまわりと協働



ひまわりの入江さんを囲んで関係者でまちづくり議論



各種実験で竹炭の効用を啓発



木炭七輪での餅焼が大人気(300人が集まった)



炭を活用した美味しい食事で健康寿命(50人)

